



横浜市立都岡中学校学校だより

旭区川井宿32-2

しろつめ草

TEL 045-953-2301

FAX 045-951-1338

令和8年6月25日発行

【学校教育目標】心豊かな人となれ

第3号



## 技術の進化と、変わらない心の根っこ

副校長 高橋 力

梅雨に入り、学校周辺の緑がいっそう濃くなる季節を迎えました。今月、世界中の視線を集めるサッカーワールドカップがついに開幕しました。4年に一度の祭典に、胸を躍らせている生徒や保護者の方も多いのではないでしょうか。

近年のスポーツ界を見渡すと、テクノロジーの進化には目を見張るものがあります。審判の判定を正確にサポートするVAR（ビデオ・アシスタント・レフェリー）の導入や、選手の走行データ・心拍数のリアルタイム分析など、スポーツ分野におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）は急速に進んでいます。かつては経験と直感に頼っていた世界が、最先端の技術によって、より公平で、より高度なエンターテインメントへと進化する様子は、私たちに新しい時代の到来を強く実感させてくれます。

こうした時代の変化の波は、決してスポーツ界やビジネスの世界だけのものではありません。私たちの学校現場でも、国が進める「GIGAスクール構想」の本格始動からの5年間で劇的な変革を遂げてきました。現在では、生徒一人ひとりにタブレット端末が行き渡り、授業で意見を瞬時に共有したり、学習プリントやレポートをデジタルで提出したりすることが当たり前の風景となっています。また、教職員の側でも校務のデジタル化やペーパーレスによる業務の効率化を図り、生徒たちと向き合い、対話するための時間をより多く生み出そうと懸命にチャレンジしています。


しかし、どれだけ学校のデジタル化が進み、効率的な社会になったとしても、学びの主役である子どもたちの「心と体の成長の過程」や「感動」そのものがデジタル化されるわけではありません。先日の体育祭で見られた、転んでもすぐに立ち上がって走り続ける姿や、声をからして自分の色や組の仲間を懸命に応援する姿は、まさにその象徴でした。砂埃にまみれ、肌を突き合わせ、互いの感情をぶつけ合う。そんな泥臭いアナログな空間にこそ、「人と人との魂の触れ合い」があります。

効率さや便利さを追求する時代だからこそ、私たちは五感で関わり合い、仲間と生身の絆を育むことの大切にしていきたいと思います。傷つき折れそうな心を本当に癒やし、立ち上がらせる力は、いつの時代も人間同士の温もりのなかにあります。デジタルという便利な道具を賢く使いこなしながらも、地域・家庭・学校がしっかりと手を取り合い、目に見えない「心の絆」をともに育てまいりたいと思います。今後とも本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 第54回 体育祭

本年度の体育祭は、「勝覇笑美戦（かっぱえびせん）」をスローガンに掲げ、全校生徒が力を合わせて取り組みました。実行委員会の生徒たちが決めたスローガン「勝覇笑美戦」には、「協力して勝利をねらって笑って美しく戦おう！」という意味が込められています。このスローガンのように、生徒たちは競技で勝利を目指すだけでなく、仲間と支え合い、一人一人が自分の役割に責任を持って行動することを大切にしながら準備を進めてきました。


実行委員会では、生徒たちが主体的に考え、よりよい体育祭をつくり上げるために、競技内容や運営方法について何度も話し合いを重ねました。当日は、競技に全力で取り組む姿はもちろん、仲間を励ます声援や、係活動に真剣に取り組む姿が随所に見られ、生徒たちの成長を感じる一日となりました。




特に印象的だったのは、学年や学級の枠を超えて互いを応援する姿です。勝敗に一喜一憂しながらも、最後には相手をたたえ合い、仲間の頑張りを認め合う姿から、本校生徒の温かさやたくましさを感じました。体育祭を通して得た達成感や仲間との絆は、生徒たちにとってかけがえのない財産になったことと思います。

また、体育祭の開催にあたり、多くの保護者の皆様、地域の皆様から温かいご理解とご支援をいただきました。生徒たちは皆様からの応援を力に変え、最後まで全力で取り組むことができました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

今後も本校では、学校行事を通して生徒一人一人の可能性を伸ばし、仲間と協力することの大切さを学ぶ機会を大切にまいります。体育祭で培った挑戦する心と仲間を思いやる気持ちを、これからの学校生活へとつなげ、生徒たちがさらに成長していくことを期待しています。



体育祭担当 菊池 耕太郎



## 3 学年 修学旅行

5月29日(金)から31日(日)にかけて、京都・大阪方面への修学旅行を実施しました。3日間とも天候に恵まれ、さわやかな空の下で充実した活動を行うことができました。

1日目は大阪に到着後、道頓堀周辺の散策と大阪コリアンタウンでの異文化体験を行いました。活気あふれる街並みや異なる文化に触れ、生徒たちは興味深そうに買い物や見学、体験を楽しんでいました。普段とは異なる環境の中で、新しい発見を多く得ることができた様子が印象的でした。

2日目はユニバーサル・スタジオ・ジャパンにて班別自主行動を行いました。事前に計画を立て、班員と園内を巡る姿が見られました。時間や約束を守りながら活動する中で、仲間とともに過ごす楽しさを改めて感じる機会となりました。

3日目は京都市内にてタクシー班別行動を行いました。各班で事前に訪問先を検討し、当日は運転手の方の案内を受けながら、自分たちで計画したコースを巡りました。清水寺や金閣寺、伏見稻荷大社などの名所を訪れ、日本の伝統や歴史の重みを実際に体感する貴重な機会となりました。地域の歴史や文化について、教科書だけでは得られない学びを深めることができました。

3日間を通して大きなけがやトラブルもなく、ルールやマナーを守りながら楽しそうに活動する生徒たちの姿が大変印象的でした。この修学旅行で得た経験を、今後の学校生活にぜひ生かしてほしいと思います。

【コリアンタウンフィールドワーク】

【道頓堀自由散策】

【コリアンタウン体験学習】

修学旅行担当 武尾 信吾

## 第1回学校運営協議会

6月17日(水)、第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会とは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって学校づくりを進めていくための組織であり仕組みです。協議会の内容は、「令和7-9年度中期学校経営方針」・「学校の様子について」・「今後の予定について」の報告のあと、委員の方々から意見や質問をいただきました。

主なご意見は以下の通りです。

- 体育祭、みんな一生懸命でとても感動した。都岡中は昔から、行事に対するエネルギーがすごいので、そのパワーを少しでも勉強の方に使ってもらえたら。
- 自転車の乗り方について、交通安全教室を行った方がよいのではないか。
- 地域の行事に、中学生にもたくさん参加してほしい。

その他、多くの貴重なご意見を、ありがとうございました。今後の学校運営に生かしてまいります。

教務主任 村田 絵美

## 学家地連前期総会

6月13日(土)に都岡中学校区の学校・家庭・地域連携事業実行委員会総会が行われました。昨年度の反省から、総会では事業報告、事業計画の他に、中学校・各小学校の様子だけでなく、地域を支えてくさる様々な立場の方々からお話をいただきました。

各自治会長に加え、民生委員、主任児童委員、少年補導員、保護司、スポーツ推進委員、青少年指導員の方々、さらには女性部や各PTA・PTOの方々からもお話をいただき、それぞれの役職の方々が地域で果たしている役割が共有されるとともに、課題も捉えることができました。

次回以降は今回共有したご意見や課題を深める場にてきたらと考えております。お忙しい中、ご参加頂きました委員の皆様、ありがとうございました。

### ～スクールカウンセラー相談日の案内～

7月7日(火)、14日(火)、21日(火)、  
28日(火)の9:00～16:00

・場所 都岡中学校 教育相談室(2階)

・直通電話 953-2389(相談実施日のみ)

### 🌸 花壇が新しくなります 🌸

本校の花壇は旭オープンガーデンの会場になっています。PTA 学年学級委員の方と環境委員の生徒が年に2回、鉢植えを行い、雑草取りなどの手入れをしています。今年は7月1日に1回目の鉢植えを行う予定です。

### 7月の主な行事予定(詳細は月間行事予定表をご確認ください)

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1日(水)        | 専門委員会          |
| 2日(木)        | 特別委員会          |
| 3日(金)        | 全校評議会          |
| 6日(月)        | 青春の集い          |
| 7日(火)        | 放課後学習会         |
| 8日(水)～14日(火) | 保護者面談          |
| 10日(金)       | 横浜子ども会議ブロック会議  |
| 16日(木)       | 大掃除            |
| 17日(金)       | 一学期終業式         |
| 18日(土)       | 夏季休業 ～8月26日(火) |

